琉球大学学術リポジトリ

アジア型まちづくりの仕組みと継承に関する国際比較研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 池田孝之 公開日: 2009-08-20 キーワード (Ja): 都市・市街地形成, 東南アジア諸国の都市, 都市・建築法制, アジア型まちづくり キーワード (En): City of Southeast Asia, City and Regional Law, Urbanization, City Planning in Asia 作成者: 池田, 孝之, 松本, 京子, 崎山, 正美, 平良, 博紀, Ikeda, Takayuki, Matsumoto, Kyoko, Sakiyama, Masami, Taira, Hironori メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/11987

アジア型まちづくりの仕組みと継承に関する国際比較研究

(課題番号63302056)

平成元年度文部省科学研究補助金(総合研究A)研究成果報告書

平成2年3月

研究代表者　池田　孝之
(琉球大学教養部教授)

はしがき

本報告書は、昭和６３年度、平成元年度の２年間にわたって文部省科学研究補助金（総合研究Ａ）を受け、「アジア型まちづくりの仕組みと継承に関する国際比較研究」という課題のもとに行われた研究の成果報告書である。

西欧的近代都市計画、建築理念のパラダイムの崩壊が叫ばれている今日、東南アジア諸国のまちづくりの仕組みを理解することは、わが国の位置付け、特質の確認、今後のまちづくり手法を構築する上で欠かすことの出来ない課題である。本研究は、東南アジアのまちづくりに関する都市・建築法律制度等の資料収集と体系的な整理を行い、それらの施行、影響、効果を実際の都市・市街地形成とからめて検証し、これらから、東南アジア固有のまちづくり制度システムの性格付け、そこにおけるわが国の関わりのあり方を探ろうとするものである。

研究期間が２年間という限られた期間であり、国内調査という制約があったこと、又、テーマに関する資料が殆ど未発掘もしくは未整理な状況であったことから、研究としてはまだ充分なものには至っていない。今後、海外調査を含めて、現地での検証を行っていくことが必要であり、研究の展開のための基礎資料として位置付けたい。

池田　孝之

研究組織

研究代表者：池田孝之（琉球大学教養部教授）
研究分担者：松本京子（琉球大学教養部講師）
研究分担者：崎山正美（環境設計家、琉球大学非常勤講師）
研究分担者：平良博紀（沖縄地域科学研究所研究員）

研究経費

昭和６３年度	３，３００千円
平成　元年度	３，１００千円
計	６，４００千円

目　　次

１．研究の視点と構成－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 1

２．シンガポールの都市形成におけるマスタープラン・
　　パブリックハウジングの役割と成立条件－－－－－－－－－－ 2

３．クアラルンプールの都市づくり計画と管理－－－－－－－－－ 4

４．ジャカルタのインナー・シティ問題と計画管理－－－－－－－ 6

５．バンコクの市街地形成と住宅地開発、ショップハウス－－－ 9

６．マニラ大都市圏形成と居住地開発－－－－－－－－－－－－－ 27

７．東南アジア諸国のまちづくりに関する都市・建築法制、
　　開発計画、等資料（文献目次及び重要見出しの抄録）－－－ 31